

(参考様式5)

事業活用活性化計画目標等評価報告書

作成日：令和3年 8月20日

ふりがな	ゆめさきちくやまのうちかっせいかけいかく
活性化計画名	夢前地区（山之内）活性化計画
ふりがな	ひょうごけん ひめじし
計画主体名	兵庫県 姫路市
計画期間	平成28年度～令和2年度
事業実施期間	平成28年度
活性化計画区域	夢前地区（山之内）

1 事業活用活性化計画目標の評価等

(1) 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率(%) $C = B / A$	備考
交流人口の増加	24,931人	40,394人	162%	
雇用者数の増加	2人	10人	500%	10人の内8人地元雇用
農産物栽培面積の拡大（遊休農地発生抑制）	1ha	1.1ha	110%	

(コメント)

計画目標である交流人口、雇用者や農作物栽培面積について、全て目標値を達成することが出来た。今後も工夫を重ねることで、継続的な交流人口の増加が見込まれる。

(2) 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	34 地域連携販売力強化施設	
事業内容及び事業量	農家レストラン、直売所 453.6 m ²	
事業実施主体	株式会社 山之内楽農倶楽部	
管理主体	株式会社 山之内楽農倶楽部	
事業着手年度	事業竣工年度	供用開始日
平成 28 年	平成 28 年	平成 28 年 10 月 24 日
事業の効果	地産地消と健康にこだわった農家レストラン及び直売所を整備した結果、地域で栽培したカモミールなどのハーブ類等を活用した加工品の提供やカモミール摘み取り体験イベント等の開催を通じ都市住民との地域間交流の場となっている。	

(3) 総合評価及び今後の方針

(コメント)
地域間交流の拠点施設として農家レストラン及び直売所が設置されたことにより、ハーブの栽培やイベント開催により、設置前と比べ区域外の都市部からの集客が増えたことにより地域活性につながっている。一方で、地域の人口減少は続いており、引き続き地域の活性化に向けた取り組み強化が必要な状況である。新たな加工品やイベントの取り組みを行うことにより、地域の魅力の増加を図り更なる集客強化を行っていききたい。

(4) 第三者の意見

第三評価者	(所属) 兵庫西農業協同組合 神飾宮農生活センター長	(氏名) 鎌谷 徹
(コメント)	農家レストラン「且緩々（しゃかんかん）」及び直売所の運営は、オープンから4年が経過し目標としていた交流人口を達成している。また、さらなる集客のために地元農家や住民と連携したハーブの栽培やイベントなどの取り組みを継続しつつ新たな加工品の開発や施設の活用も取り組まれており、今後も地域活性化の交流拠点として期待できる。	

2 活性化計画の目標の評価等

(1) 活性化計画の目標の達成状況

活性化計画の 目標及び達成度	目標	交流人口の増加	雇用者数の増加	農産物栽培面積の拡大
	目標値 A	実績値 B		達成率 C = B / A
	交流人口の増加	24,931 人	交流人口の増加	40,934 人
雇用者数の増加	2 人	雇用者数の増加	10 人	500%
農産物栽培面積の拡大	1ha	農産物栽培面積の拡大	1.1ha	110%

(2) 今後の方針

(コメント)

地域間交流の拠点施設として農家レストラン及び直売所が設置されたことにより、ハーブの栽培やイベント開催により、設置前と比べ区域外の都市部からの集客が増えたことにより地域活性につながっている。一方で、地域の人口減少は続いており、引き続き地域の活性化に向けた取り組み強化が必要な状況である。新たな加工品やイベントの取り組みを行うことにより、地域の魅力の増加を図り更なる集客強化を行っていききたい。

(3) 第三者の意見

第三評価者	(所属)	兵庫西農業協同組合 神飾宮農生活センター長	(氏名)	鎌谷 徹
(コメント)				
農家レストラン「且緩々（しゃかんかん）」及び直売所の運営は、オープンから4年が経過し目標としていた交流人口を達成している。また、さらなる集客のために地元農家や住民と連携したハーブの栽培やイベントなどの取り組みを継続しつつ新たな加工品の開発や施設の活用も取り込まれており、今後も地域活性化の交流拠点として期待できる。				

【記入要領】

- (1) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要領第16の1の(3)のア及びイに基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (2) 「2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果」は、事業メニューごとに作成すること。また、「事業の効果」には目標の達成に直接関係する効果だけでなく、事業の実施により発現した効果（農山漁村の活性化に関連する効果（取組への参加や地域内で行われた話合の回数などの地域の変化を表す数値等を含む））を幅広く記入すること。